

バレー部支部優勝に成長の跡

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年5月23日
第13号



優勝を決めて、満面の笑顔のバレーボール部員。

5月17日からバレーボールの高校連小樽支部予選会が開催され、本校は倶知安、小樽潮陵、小樽未来創造・岩内（合同チーム）を2-0で下し、決勝で小樽桜陽に2-1で勝利して優勝した。春季大会の敗戦からチームはどのように立ち上がったのか、主将の森あずささんに聞いた。

試合の入り出しがチームの課題だが、倶知安戦はその心配を吹き飛ばすほど、入り出しが良く、1セット目はその流れで最後までリードできた。2セット目は人が出て、またサーブミスなども多く出て、点差が縮まったが、2-0で勝利した。潮陵戦はサーブで崩せていたので、大差をつけ、2-0で勝利した。

未来創造・岩内（合同チーム）戦も危なげなく、2-0で勝利した。

決勝の桜陽には春季大会で敗れている。今回は「絶対に勝利する」気持ちで臨んだ。1セット目は自分たちのミスが重なり、21-25で取られた。後のない2セット目、得意の速攻が決まり、調子が上がり、25-20でセットを奪取した。3セット目、先に13点を奪われたが、コートチェンジしてから、これまでの練習の成果を出すことができた。狙いを定めたサーブ、ブロックが決まり、高さのある返球をオパーで良いパスに変えることができた。ゴールデンウィークの合宿、練習試合など精神的にきつかったが、全員で頑張り、3セット目を25-18で奪い、優勝できた。吹奏楽部の応援も後押ししてくれて感謝している。6月12日から始まる釧路の全道大会でも粘り強く戦うつもりだ。

弓道部

団体男子2位、女子3位

弓道の高校連小樽支部予選で個人戦は予選止まりで決勝進出はならなかった。団体戦、男子は潮陵に勝ったが、桜陽に敗れ、2位になった。女子は水産に勝ったが、潮陵、桜陽に敗れ、3位になった。男女とも桜陽には1本差で敗れ、悔しさを味わった。全道進出はならなかったが、成長の手応えを感じる場面もあった。



団体戦

男子

双葉7-8 桜陽

双葉14-12 潮陵

女子

双葉6-2 水産

双葉2-6 潮陵

双葉7-8 桜陽

男子2人は皆中

河本美優さん

「男子の潮陵戦で大前の斎藤優太くと2立ち目の佐藤作くんが皆中だったのが、印象に残りました。斎藤くんは次期部長として頑張ってくれるでしょう。女子も桜陽に1本差で敗れ、悔しかったです。」

（写真は大会後の集合写真）